

ホームページ



念願の『グループケアホーム』 完成…(?)

ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ本部
文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

ggghd.com
ggg-asahigloval.com
gloval-mie.com
super-chintai.com
ggg-goldtrust.com
ggg-goldage.com
ggg-kubokawayoshimichi.com

完成と言っても建物ができた訳ではありません。私が以前から社員さんに、是非『グループホーム』の『サ高住』をやってもらえないか。と3年以上お願いしていて、全社員に断られて反対されていたのに、昨日この『グループケアホーム』の計画書を見せられました。なかなかのアイデアでこんなサ高住は全国どこにもありませんね。私はすぐに『よしやろう!!』と決定してしまいました。しかし完成までは1年以上かかりましたが、計画と設計は『完成』ですね。

現在『認知症』は305万人を超えて全高齢者人口3,058万人の中で10%、10人に1人が認知症です。2025年には推定で470万人になると予測されています。しかし全国でグループホームは9,484ヶ所、142万人しか入居できませんね。人口30万人の四日市市でグループホームは9ヶ所、99人しか入居できないのです。不足です。

介護を抱えるご家庭の中で一番苦勞なのが『認知症』ですよ。以前から私は、だから認知専門の『サ高住』をしたかったのですが、全社員が反対でした。反対と言うのは、『やりたくない』のとは違います。私達の

介護の能力と人数では手間のかかる認知症をやること、迷惑がかかることを考えていたのです。それと国の政策でグループホームの認可の取れた施設でない、多額の介護報酬がもらえません。サ高住で人数と時間のかかる『認知症』を専門でお世話することができなかったんですね。

それは私も十分に分かっていました。それが昨日、『やりましょう』と言われて私はもうびっくりするやら、嬉しいやら。しかしまた大変な苦勞になりそうな予感もヒシヒシです。お金の責任は私ですから、また全国で誰もやっていないことをすると沢山のお金が無くなるのと、失敗した時の責任も重いですね。しかし『やる』と決心してしまいました。

ゴールドエイジの全国に誇れるビジネスモデルの『成功事例』は今現在4つあります。それは①ナースケアホーム(要介護度4平均)②デイケアホーム(要介護度2~3)③アクティブケアホーム(要介護度1,8)④ドクターケアホーム(要介護度2~4)です。今回⑤のグループケアホーム(認知専門)が苦勞はありますが、成功の事例となれば全国の介護社様のよい参考となりますし、

なによりも認知を抱えたご家族に喜んでいただけることが一番嬉しいことですね。

社員さんはきつと大変な苦勞をすと思いますが、毎年毎年『デンマークの認知の介護施設』への研修を行って、一日も早く成功させたいと念願しています。建物の平面計画は全く今のサ高住とは違います。またそこで働くスタッフも、今のサ高住とは全く役割も組織も変わります。社員さんにとっても日本の介護の知識と技術を『デンマークレベル』にしないとやっていけません。しかし挑戦することは楽しいことです。能力や技術は1年や2年では無理です。しかし3年後には沢山の認知症の専門ヘルパーやナースが誕生していることでしょう。

さてさっそく、土地を探して建物を建てて…。お金もいるし、不安だし。しかしせつかく社員さんの方からやりましょうと言ってくれたのですから、私がここで逃げる訳にはいきません。そして必ずデンマーク型の認知症の介護に追いつき、追い越せの覚悟で早く実現したいものです。1年後にはきつと実現しています。ご期待ください。